

---

# 時は歩んでいる

ロースト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

時は歩んでいる

### 【著者名】

ロースト  
N4688M

### 【あらすじ】

追っていた。ずっと、ずっと追い続けてきた。

これからも追い続けるのだろうと、漠然と、根拠もなく思っていた。  
そこには苦楽の感情はない。

けれど、変化しないものなど何もなかった。

## 追うもの

長く、長く  
もうずっと背を追っていた。

随分前方に見える背中を追つて。  
少し揺らいで見えるその背中は変わらない。  
振り返ることも、歩みを止めることもせず、ずっと前に在る。  
追いつきたくて、距離を縮めたくて、  
焦つても、走つても、  
縮まらない。

逆に、離されているかのような感覚。

急に止まった。

あの変わらない背が。

止まつたのを機に、さらに歩みを速める。

今まで、たつたの一度も近づけなかつた背が、すぐ傍に。  
でも、知つてしまつた。

歯車が壊れたことを。

背は歩みを止めたのではなかつた。

待つていたのでもなく、ただ壊れていた。

ガラクタとなり、ポンコツとなり、そこに在つた。

目標を失つた。

指標を失つた。

背中を見て、追つていた世界は明るかつた。

そして明確だつた。

これから広がる世界は暗く、不安定。

導なく、どこに行くのかわからない道のり。

自分はどこへ行くのだろう。

自分が歩く道は、わからない。

どこかへ繋がる道なのに、一歩手前がすでに崖のよつた奇妙な不安さがある。

自分は追うものから彷徨つものへと

この時確かに変化が訪れた。

変わらない背から、変わりある未来へと。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4688m/>

---

時は歩んでいる

2010年10月19日12時21分発行